

「初対面の人へのあいさつ」②

年 組 番

氏名

1 敬語の種類

尊敬語	相手の動作などに対して使う。相手を高めることで敬意を表す。基本形は「お＋〇〇になる」で、「お会いになる」のように使われる。また「言う」が「おっしゃる」となるように、言葉自体を変えて使うものもある。
謙譲語	自分や身内の動作などに対して使う。自分がへりくだることで相手を高め、敬意を表す。基本形は「お＋〇〇する」で、「お持ちする」のように使われる。また「見る」が「拝見する」となるように、言葉自体を変えて使うものもある。
丁寧語	「です」「ます」をつけ、相手に敬意を表して丁寧に言うときに使う。

2 言葉が変わる敬語の例

	尊敬語	謙譲語	丁寧語
言う	おっしゃる	申し上げます	言います
聞く	お聞きになる	伺う、拝聴する	聞きます
見る	ご覧になる	拝見する	見ます
行く	いらっしゃる	伺う、参る	行きます
会う	お会いになる	お目にかかる	会います

3 次の文章の下線部の言葉を「お（ご） —— になる」という言い方に書き直しましょう。

(1) 面接官が本日の日程を説明する。

(2) 面接官が部屋に入る。

4 次の文章の下線部の言葉を「お（ご） —— する」という言い方に書き直しましょう。

(1) 面接官にカードを見せる。

(2) 社長を玄関まで見送る。

5 次の文章を正しい形に書き直しましょう。

(1) 先生、この資料は拝見されましたか？

(2) 今日私は初めてお会いになると思います。